



よしだつうしん

# 吉田通信

第115号  
【2024年4月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

## ◆時代の変化を感じます◆

こんにちは。お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第115号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、最近、数珠やお位牌、お仏壇などを通じて、時代の変化を感じるがあります。

まず、数珠に関して、かつては男性用、女性用と明確に分かれていました。それが最近、ジェンダーレス、ジェンダーフリーという言葉が出てきたように、私たちからはご宗派別の説明はしますが、「こちらは男性(女性)用です」ではなく「どれでもお気に入りのものをどうぞ」とお伝えするようになりました。結果、そんなに玉が大きい数珠を男性のお客様が選ばれたり、房の色もかつては男性のお客様が選ばれていたものを女性のお客様が選ばれたりするようになりました。

次にお位牌です。ご夫婦のどちらかがお亡くなりになられて戒名を書く際、以前は左右のどちらかに寄せていました。ただ、最近中央に戒名を書く形が増えてきています。実は、お客様から、左右どちらかに寄せていると、自分が死ぬのを待っているみたいで嫌ですというお声が複数あり、現在は私たちからも中央に書くことをご提案しています。その後、お亡くなりになったときは札板を取り替えるか、塗り替えをして連名の形にしましようにもお伝えしています。

それから、お仏壇です。『お仏壇仕舞い』という言葉が定着しつつありますが、お仏壇を大きなものから小さなもの買い替えた、または処分したいというお声が本当に増えてきています。改築やお引っ越しのタイミングで、よりコンパクトなものにしたいと。お仏壇の処分は吉運堂で承るのですが、その際、そのお仏壇のお客様が気に入っていた彫りや蒔絵などの部位を残し、それを額に入れて飾ることができることを提案し、お客様からとても喜んでいただけています。



他にも、お線香の代わりにアロマオイルを使うという新しい供養の形も出てきて、そのお問い合わせも来ており、時代の変化を感じています。

これからも、時代に遅れないように、その変化にしっかり対応しつつ、大事なことはしっかり残していけたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

## ◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただきまして、どうもありがとうございます。さて、この原稿を書いておるのは4月8日ですが、ちょうど本社(白根)の桜が咲き出したところです。新潟市で桜が有名なのは信濃川沿い「やすらぎ堤」の桜です。毎年、出かけてお花見ということはしませんが、通勤時や出かけた先での満開の桜を目に焼き付け、家に帰って家族にその桜の報告をしながら一人でお酒を飲んでいきます。これが私の花見酒です。吉田竹史

■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが025-372-1138までご連絡をお願いいたします。■

### 【発行者プロフィール】

名前:吉田 竹史(よしだ たけし)  
生年月日:昭和40年8月21日(O型)  
出身地:新潟県白根市(現・新潟市南区)  
経歴:都内の学校を卒業後、証券会社(水戸&ニューヨーク)の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味:上手くないゴルフ、強くない将棋  
(NHKの将棋対局を見ることは好きです)  
家族構成:妻、娘、息子



吉運堂



吉田 竹史